地域で共に生きることを考える

近畿地域福祉学会を京都で開催

平成30年12月8日、ひと・まち交流館京都にて近畿地域福祉学会平成30年度京都大会（所めぐみ実行委員長・関西大学教授）が開催されました。近畿府県の学生、専門職など200名を超える参加があり、盛況となりました。

今大会は、「私たちの目指す『地域共生社会』 ── 実現への課題と展望を探る ── 」をテーマに掲げ、研究者と実践者による自由研究・実践報告発表とパネルディスカッションを実施しました。自由研究・実践報告発表では、例年よりも多い、計15本の発表があり、「地域共生社会」の実践が近畿府県の各地で推進されている様子が窺えました。

パネルディスカッションでは、４名のパネリスト（猿渡洋子 氏・男山Ｂ地区見守り隊隊長/民生児童委員、橋川光一郎 氏・京都老人福祉協会 東高瀬川センター、荒川博 氏・株式会社 都ハウジング、小野恵以子 氏・京都市社会福祉協議会）と２名のコメンテーター（上野谷加代子 氏・同志社大学教授、平田義氏・イエス団 愛隣デイサービスセンター所長）による熱い討議が行われました。

パネルディスカッションの最後、登壇者より「共に生きるって」どう思うか、「だからこそ」こんな風にしていきたいというそれぞれの描く「地域共生社会」の展望を発表していただきました。（下記）

きっと皆さんの中にも大切にしている思いや展望があるかと思います。一人ひとりの思いを尊重し合いながら、オール京都でこれからも実践を進めていくことの大切さを改めて感じた学会となりました。

夢中! 熱中! ふくしびと

だから続けたい この仕事

福祉の現場で働く人たちの熱い想い・メッセージを伝えるコーナーです。京都府内で“熱い福祉”を“夢中”で実践している方々にスポットをあてて、元気や楽しさ、やりがいを“生”の声でお届けします。

井上 千草さん　いのうえ ちぐさ

施設名　医療法人岸本病院
ディサービスセンターハーティ
〒625-0057 京都府舞鶴市南浜町1-3
HP／URL：http://www.myclinic.ne.jp/kishimoto/pc/index.html
TEL.0773-65-2103　FAX.0773-66-3202
職種：介護福祉士　経験年数：７年８か月
★好きな言葉：ありがとう
★今、夢中になっていること：手話の勉強

介護職に出会って

★仕事を始めたきっかけは？

近所に住む小さい頃から可愛がってくれた祖母が軽い認知症になり、ヘルパーさんにお世話になる様子を間近でみて興味をもったからです。

★仕事の内容とやりがいは？

ディサービスで普段は利用者さんの送迎、食事や入浴の介助などをしています。季節ごとの行事や、桜や紅葉の頃には近くにドライブに行ったり外食に出かけたりと色々な行事を考えてとりいれています。日頃の仕事をしながら行事の計画や準備は大変ですが、利用者さんの楽しそうな笑顔やご家族の方からの感謝の言葉をもらうとこの仕事をやってよかったとやりがいを感じます。

★プライベートの過ごし方は？

小学生と年長の女の子、２人の母です。普段は仕事の帰りが遅い時や、家事や宿題をみたりと時間に追われるので、休みの日は主人と子供たちと買い物に出かけたり、家でゆっくりくつろいでお喋りをしたりと子供中心の生活です。10月には家族でディズニーランドに行ってきました。子供も大きくなり行動範囲も広がったので、次の旅行の計画をたてるのが今の楽しみです。

★今後の目標（抱負）は？

この仕事についた時より今は介護の仕事の内容や必要な資格などとても進歩しています。介護は、これからさらに必要とされる仕事だと思うので、もっと知識を深め利用者さんへの対応、心くばりを身につけていきたいと思います。